

# 微量アルブミン尿検査について～飯塚医療圏の取組～

協働環境委員会資料  
令和2年2月6日提出

飯塚医療圏(飯塚市・嘉麻市・桂川町)の特定健診受診率は県平均と比較して高く、多くの国保被保険者の疾病の早期発見・早期治療につながっています。(平成30年度 県平均受診率:34.8% 飯塚医療圏受診率:47.3%《飯塚市:49.5%》)

その一方で、糖尿病などの生活習慣病の罹患者の割合が県平均より高い(表1)など、健康課題も明らかとなってきたため、飯塚医師会と行政(2市1町)が連携して、糖尿病性腎症(人工透析の原因疾患第1位)の発症・重症化予防を推進するため、特定健診の2次健診として「**微量アルブミン尿検査(※1)**」を導入することとなりました。【令和元年度新規事業】

(※1)糖尿病性腎症を早期発見するため、腎症早期に尿中に漏れ出す微量のタンパク(アルブミン)を見つけ出すもの。

## 推進組織(地域連携)

【糖尿病重症化予防推進協議会(全体会・準備会)】の設置(H30)

(医師会・行政等の合同会議体)

- ・飯塚医師会会員
- ・行政関係者(飯塚市、嘉麻市、桂川町、福岡県) 等

## 検査の重要性

【糖尿病性腎症の早期発見・早期治療】

- ・糖尿病患者の約40%が糖尿病性腎症を発症
- ・微量アルブミン尿期(早期腎症)における厳格な治療により、約7割の症例は正常尿へ改善(または悪化抑制)するとともに、糖尿病性腎症の末期腎不全への進展及び心血管病の発症を抑制



【透析、心筋梗塞、脳卒中の予防(リスク評価)に重要】

## 検査の実施方法(個別健診・集団健診)

- ①特定健診(1次健診)結果に基づき、2次健診(アルブミン尿検査)の対象者選定
- ②特定健診実施機関(または市町)にて、2次健診対象者に対して、結果説明時にアルブミン尿検査を実施
- ③特定健診実施機関(または市町)による2次健診の結果説明
- ④かかりつけ医での診療、糖尿病・腎臓病専門医への紹介(受診勧奨)

・地域の健診医、かかりつけ医、専門医、行政(保健師・管理栄養士)の連携による重症化予防  
・新規透析患者数の減少(医療費の削減)

(表1)平成29年度特定健診受診者に占める糖尿病(型)者数

	受診者数	糖尿病治療無	糖尿病治療有	糖尿病者合計
福岡県	245,518人	10,263人	17,246人	27,509人
(割合)	100.0%	4.2%	7.0%	11.2%
飯塚医療圏	13,145人	859人	1,293人	2,152人
(割合)	100.0%	6.5%	9.8%	16.4%

# 微量アルブミン尿検査について ～実施状況等～

令和元年度 実施状況

(令和2年1月24日現在)

区分	特定健診受診者 (a)	対象者 (b)	出現率 (b/a)	実施者 (c)	実施率 (c/b)
集団健診	1,454人	126人	8.7%	114人	90.5%
個別健診	5,545人	640人	11.5%	440人	68.8%
計	6,999人	766人	10.9%	554人	72.3%

(健診結果内訳)

区分	正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿	計
	～29mg/g・Cre	30～299mg/g・Cre	300～mg/g・Cre	
集団健診	92人	21人	1人	114人
個別健診	341人	98人	1人	440人
計	433人	119人	2人	554人

- かかりつけ医への受診勧奨
- 2次医療機関(糖尿病専門医等)への紹介
- 個別医療機関と行政の連携による保健指導、栄養指導
- レセプト情報に基づく治療継続や内服状況の確認

【当初予算】

国民健康保険特別会計 ヘルスアップ事業費  $2,450円 \times 1,520人 \times 1.1 = 4,096,400円$  (4,097千円)

【契約関係】

委託先:(一社)飯塚医師会

委託料:個別健診 2,450円/人、集団健診 1,500円/人 (税抜)

健診料金(患者負担額):無料